

令和7年度 川口市行政評価外部評価委員会 アンケート結果

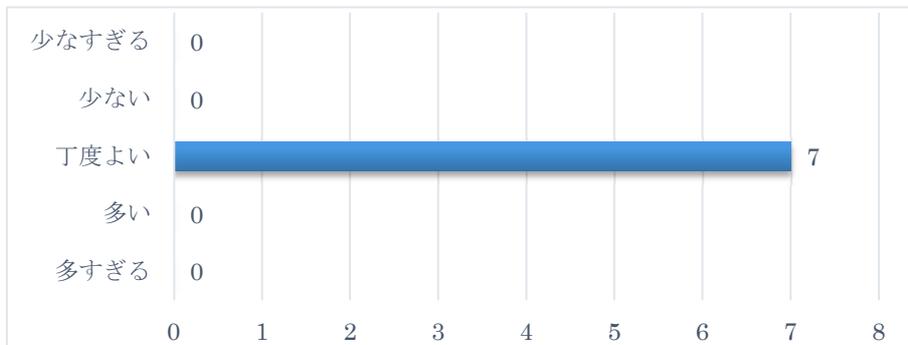
(1)外部評価委員アンケート結果

- 〈対象者〉 川口市外部評価委員会委員 7名
〈実施日〉 令和7年8月29日(金)
〈実施方法〉 第3回会議内にて（当日欠席の1名は後日回答）

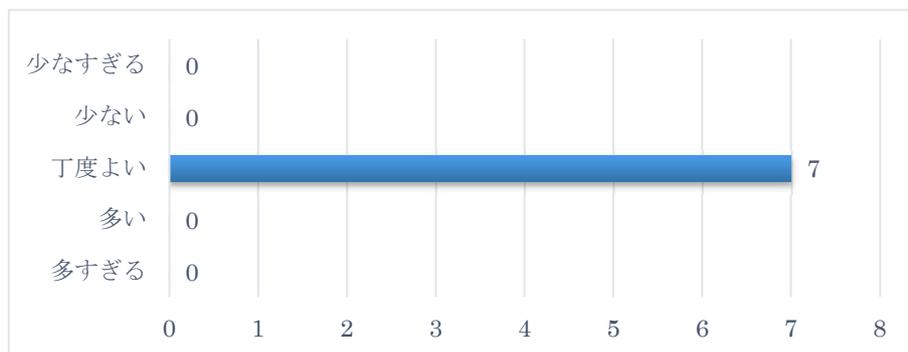
《外部評価委員会の運営について》

【Q1】評価事業数

① 評価事業の数(2 枠・3 事業)はいかがでしたでしょうか。(○は1つのみ)

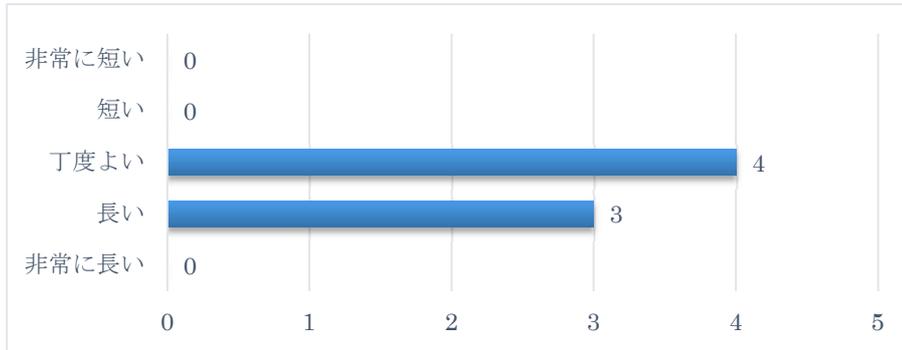


② 会議の開催回数はいかがでしたでしょうか。(○は1つのみ)

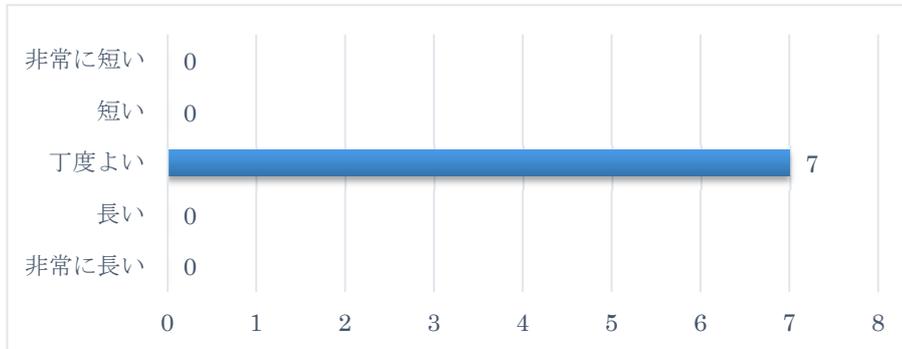


③ 会議全体の所要時間はいかがでしたでしょうか。(○は1つのみ)

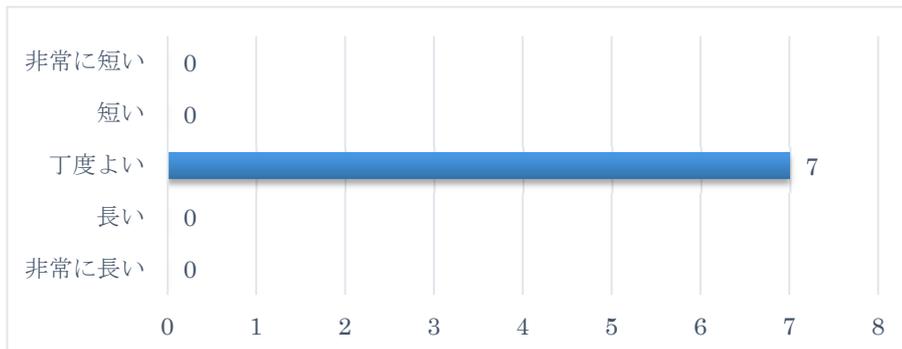
【第一回】(約2時間)



【第二回】(約1時間40分)

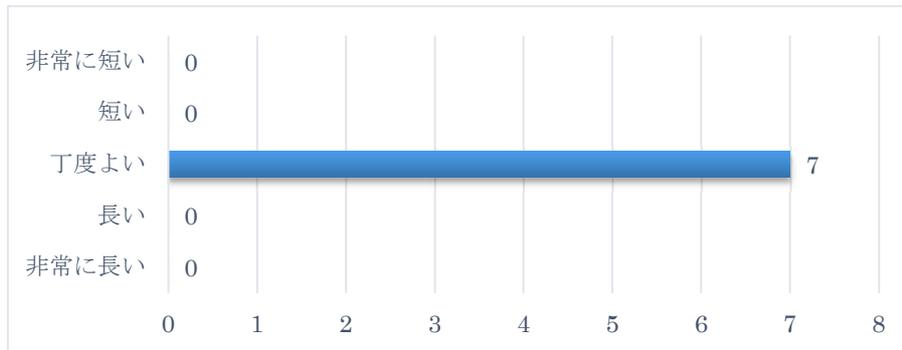


【第三回】(約1時間30分)

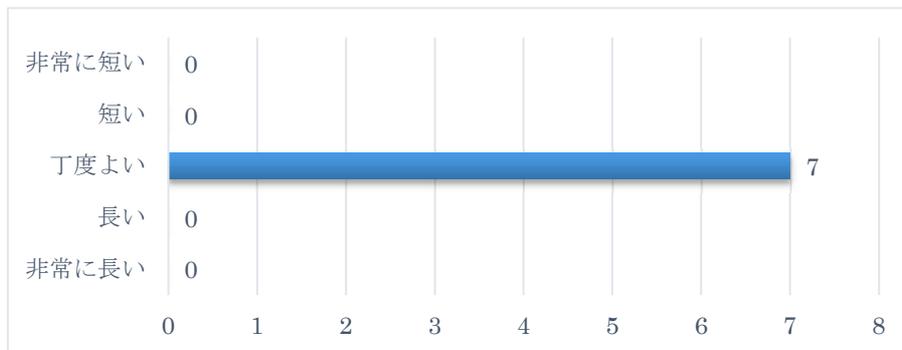


④ ヒアリングの所要時間はいかがでしたでしょうか。(○は1つのみ)

【第一回】(約 20 分)

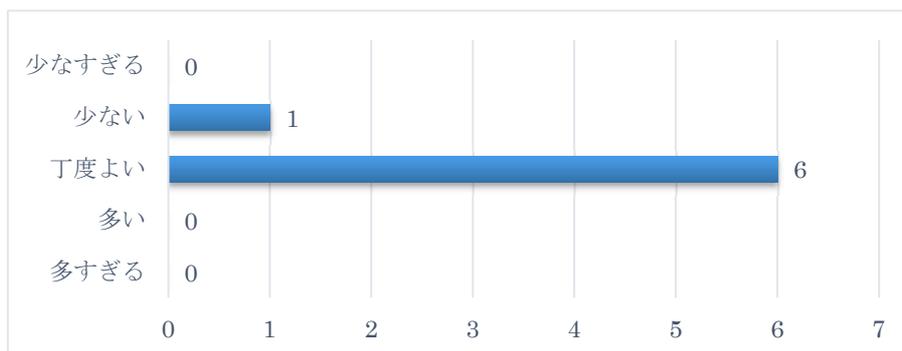


【第二回】(約 20 分)

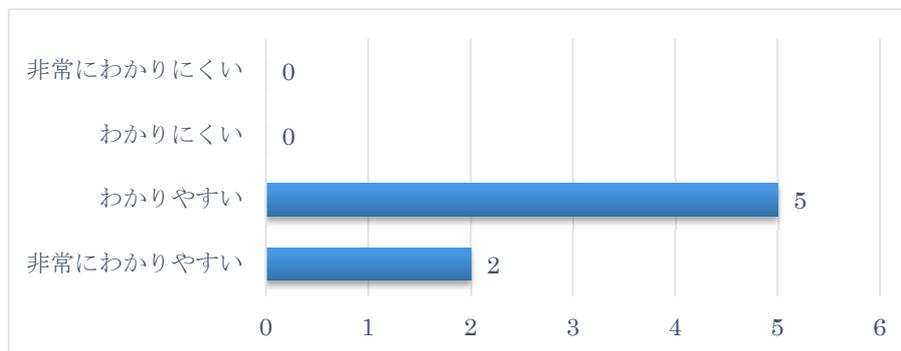


【Q2】外部評価対象事業の資料について

① 資料の量はいかがでしたでしょうか。(○は1つのみ)



② - 「事業内容説明シート」はわかりやすかったですか。(〇は1つのみ)



② - 2 「事業内容説明シート」の改善点があれば、ご記載ください。(自由記述)

➤ 項目はよいが、もう少し詳しく記入してもらえるとありがたい。

③ 事業ごとの補足資料については、「事業の概要」、「実績数等の推移」、「他自治体の類似事業の状況」を基本に作成していますが、他に欲しい情報や資料がありましたら、ご記載ください。(自由記述)

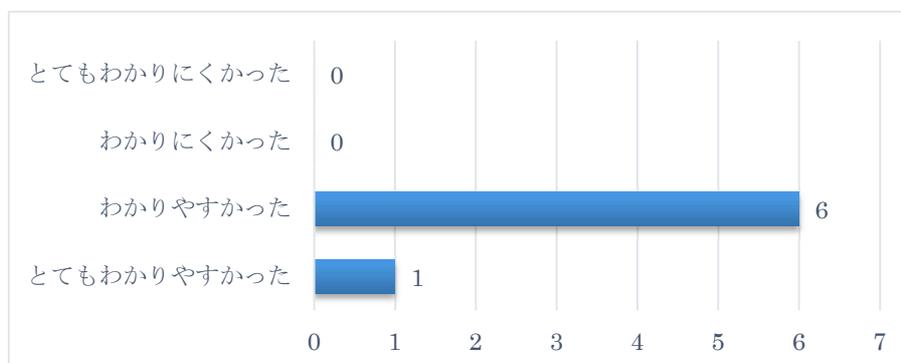
➤ 事業の理解を促すための関連資料があれば良いと思う。例)介護保険事業(要介護度)

④その他、外部評価委員会の資料につきまして、ご意見・ご要望等ございましたら、下欄にお書きください。(自由記述)

➤ 年々よくなってきていると感じる。

【Q3】事業概要説明について

① - 1 評価対象事業の選定理由や懸案事項等をご理解いただくことを目的に、第1回会議開催前に、事務局において、委員の皆さまに対し、説明を行いました。会議実施前の説明として、説明の手法も含め、内容はいかがでしたでしょうか。(〇は1つのみ)



① ー2上記をご選択いただいた理由等ございましたら、ご記載ください。(自由記述)

- 理由や懸案事項が理解出来た。
- 入口としては丁度よい情報量。
- スムーズに理解出来た。

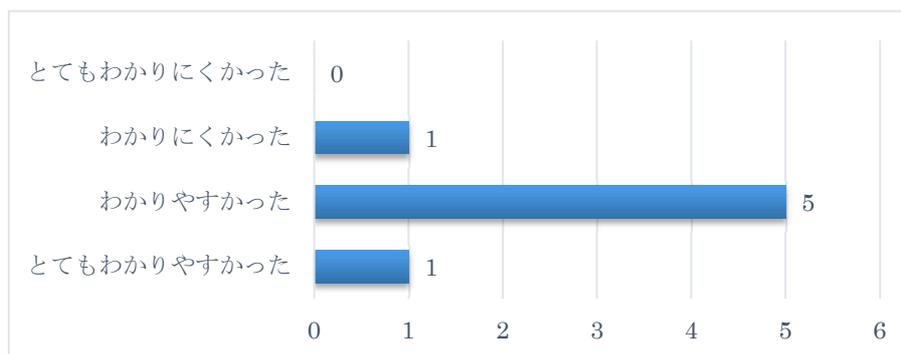
② その他、事業概要説明につきまして、ご意見・ご要望等ございましたら、下欄にお書きください。(自由記述)

- なし

【Q4】委員会の構成について

① 従来の会議形式から変更し、第1回委員会より、事業担当課が事業概要の説明と併せて、ヒアリングを行いました。

第1回からヒアリングを実施したことについて、いかがでしたでしょうか。(〇は1つのみ)



② 第2回委員会で個人の評価を行ったあと、第3回委員会で評価の共有を行い、委員会としての評価をまとめました。別日に改めて開催したことについて、いかがでしたでしょうか。(自由記述)

- ゆとりがあってよかった。
- 別日の方が良い。
- 自分の意見を落ち着かせ、他の委員の意見を考える事ができて良かった。
- 1日の時間が長くなりませんでした。
- 第3回に個人評価のとりまとめ資料をもとに委員会としての評価ができたので理解がスムーズだった。

- ③ 今回の委員会の構成について、ご意見等ございましたら、下欄にお書きください。
(自由記述)

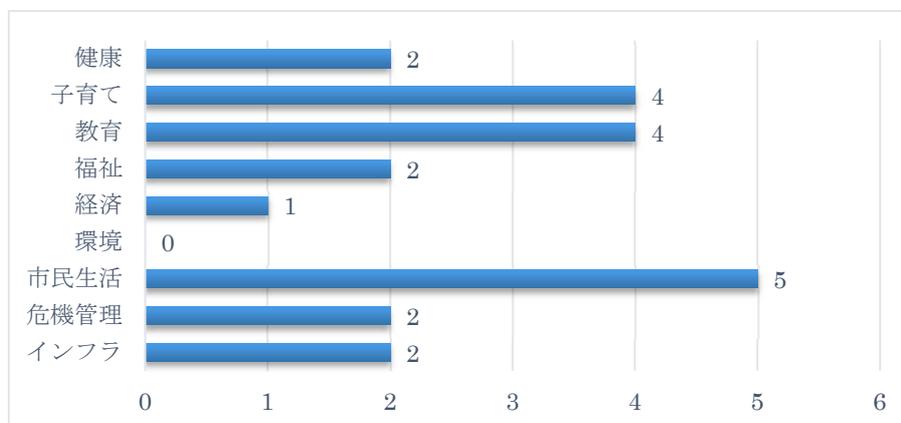
- よいと思う。
- 今年の委員会の方がわかりやすかったです。ただ8月に集中したのはちょっと大変だった。

【Q5】評価対象事業について

- ① 対象事業を選定する際の視点としてあったら良いと思われることは何でしょうか。
(複数選択可)



- ② 評価してみたい行政分野はございますでしょうか。(複数選択可)



- ③ 具体的に評価してみたい事業や取り組みがございましたら、ご記載下さい。

- なし

【Q6】その他

上記設問の他、外部評価委員会に関するご意見やご感想、ご要望等がございましたら、下欄にお書きください。(自由記述)

- 以前に比べて資料がととのっている。
- 調書を離れた評価になっているが、これでよいか考えてみる必要があるかもしれない。
- 外部評価委員会に参加させてもらい勉強になった。事業全体でどの位補助金が出ているのか、どの位の数があるのか収入に占める割合など興味が湧いた。
- 事業担当課は国会答弁じゃないからもう少し普通にしゃべってほしい。
- とてもわかりやすかった。御世話様でした。
- 少しでも改善につなげて頂ければ嬉しい。

[2]アンケート結果のまとめ

令和7年度の川口市行政評価外部評価委員会は、昨年度と同様の手法で定性的評価及び定量的評価を実施し、評価事業は昨年度から引き続き、3事業を対象とした。

第3回外部評価委員会後に実施したアンケート調査によれば、会議回数や第2回・第3回会議の所要時間は妥当という意見が寄せられたが、昨年度からの変更点として、第1回会議時に事業担当課から説明・ヒアリングしたことで会議時間が長時間になってしまったため、長いと回答する委員が3名いた。

また、外部評価で使用する資料については、分かりやすいという意見が多く、年々良くなっているという意見もあったが、事業の理解を促すための関連資料の添付を希望する意見もあり、より深く事業を理解するための基礎資料の収集が検討課題となった。

《外部評価委員会の運営について》

【Q1】評価事業数

【Q1】評価事業数や会議開催回数については、7名中7名が「丁度よい」という回答となり、事業数は3つが丁度よく、会議回数も4回が丁度よいと感じていることが分かった。

会議全体の所要時間については、第1回の2時間は7名中4名が「丁度よい」、3名が「長い」と回答し、第2回・第3回の概ね1時間30分については7名中7名が「丁度よい」との回答であり、会議時間は2時間未満が概ね適切と思われる。

【Q2】外部評価対象事業の資料について

【Q2】外部評価対象事業の資料の「量」については、7名中6名が「丁度よい」、1名が「少ない」と回答しており、「事業内容説明シート」のわかりやすさについては、7名中5名が「わかりやすい」と回答し、2名が「非常にわかりやすい」と回答した。改善点としては「項目はよいが、もう少し詳しく記入してほしい」との意見や、「事業の理解を促すための関連資料があれば、より分かりやすい」との意見があった一方で、「年々良くなっている」との意見もあった。

対象事業のことをより深く理解していただけるよう、関連資料の添付など基礎資料の工夫について、引き続き検討する必要がある。

【Q3】事業概要説明について

【Q3】事業概要説明については、7名中6名が「わかりやすかった」、1名が「とてもわかりやすかった」と回答し、全員が肯定的な見解であった。事業を知る前の「入口としては丁度よい情報量」、「スムーズに理解できた」、「選定理由や懸案事項が理解できた」など事前説明については、評価対象事業の選定理由や懸案事項等を説明することで委員に事業の概要を理解していただくことが出来た。

【Q4】委員会の構成について

【Q4】委員会の構成を今年度変更し、第1回委員会時に事業担当課が概要説明と併せてヒアリングを行ったことについては、7名中5名が「わかりやすかった」、1名がそれぞれ「とてもわかりやすかった」、「わかりにくかった」と回答した。第2回委員会時に個人の評価を行い、第3回委員会時に評価の共有を行ったことについては、「自分の意見を落ち着かせ、他の委員の意見を考える事が出来て良かった」など肯定的な意見が多かった一方で、開催時期が8月に集中してしまったため、「仕事の調整が大変だった」との意見があった。

【Q5】評価対象事業について

【Q5】評価対象事業を選定する際の視点としてあったら良いと思われる内容については、4名が「必要性」と「類似事業」、2名が「事業の効果」と「市民に身近な事業」、1名が「収益性」と「過去に評価した事業の再評価」と回答した。

評価してみたい行政分野については、5名が「市民生活」、4名が「子育て」と「教育」、2名がそれぞれ「健康」「福祉」「危機管理」「インフラ」と回答した。

票数の多かった視点や行政分野について、いただいた意見を参考に、今後精査していきたい。

【Q6】その他の意見について

【Q6】上記設問の他、外部評価委員会に関する意見や感想、要望等については、「事業担当課は国会答弁のような話し方ではなく、もっと普通に喋ってもらいたい」や「外部評価委員会に参加させてもらい勉強になった。事業全体でどの位補助金が出ているのか、どの位の数があるのか収入に占める割合など興味が沸いた」などの感想があった。また意見として「調書を離れた評価になっているが、これでよいか考えてみる必要があるかもしれない」との声があり、今後の検討課題となった。

[3]今後の検討課題

◆外部評価委員会の在り方の検討

外部評価は、各部局が実施した内部評価結果について、改めて市民の視点で評価するために平成22年度から川口市行政評価外部評価委員会を置き、行政評価の客観性及び透明性を確保するとともに、効率的かつ効果的な市政運営を推進するために実施していた。その都度、対象事業の選定方法や進行を見直し進めてきたところだが、現委員の任期が令和7年度をもって満了となることから、令和8年度は一旦休止し、今後の外部評価の在り方を検討していく。